



itamiarts inc.

*Advertisement Planning, Graphic Design
Web Design, and Web Marketing, Visual Identification*

**2026年1月期 第1四半期
決算補足説明資料**

2025年6月13日

証券コード：168A

株式会社イタミアート

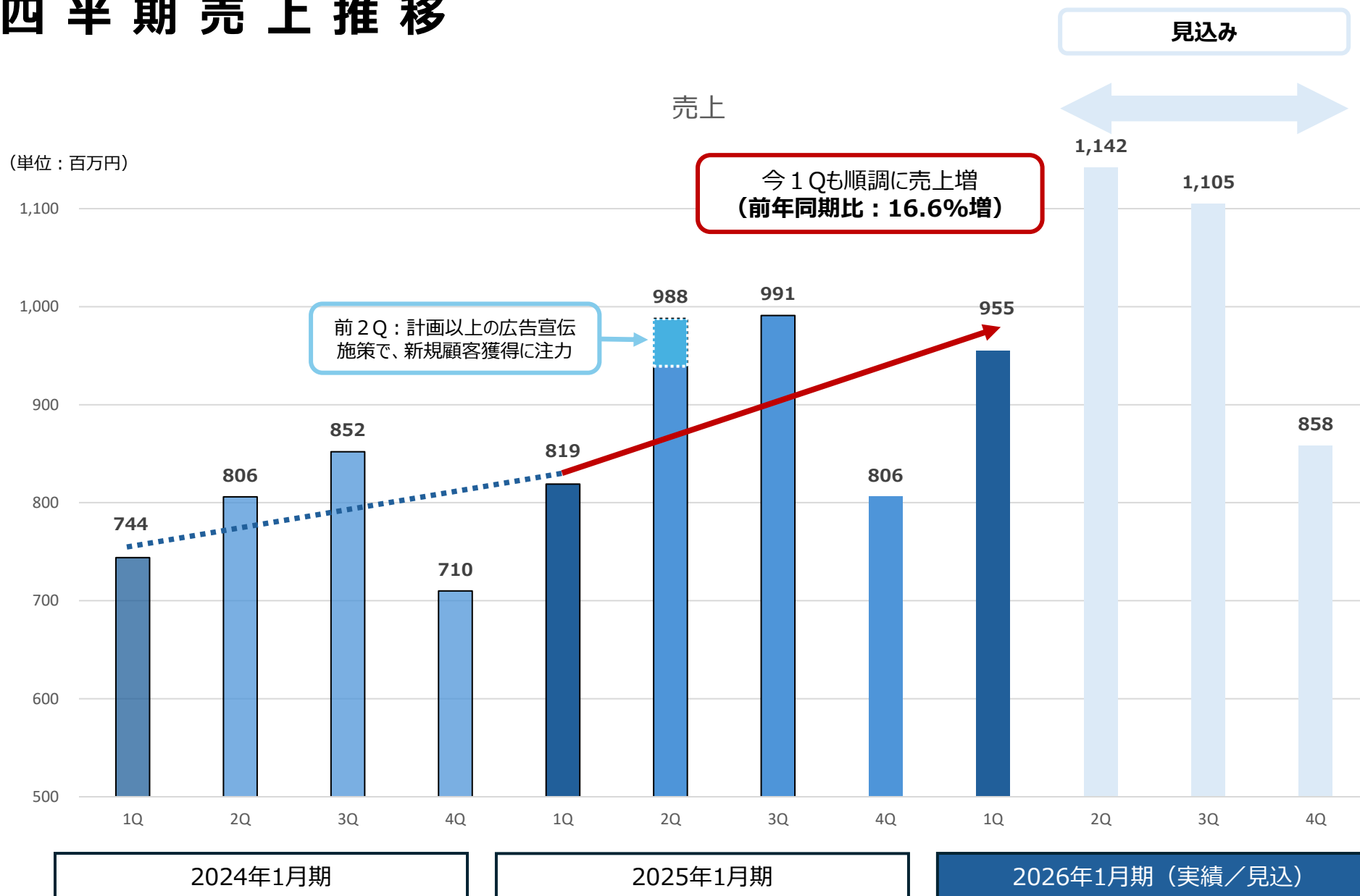
損益計算書の概要

売上高は、積極的な新規顧客獲得策が奏功したことで卸販売強化で前年同期比+16.6%と大きく増加
 営業利益は、売上増や売上総利益率の改善などで前年同期比+39.4%と大きく増益

(単位：百万円)

	2025年1月期 第1四半期	2026年1月期 第1四半期	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額	概要
売上高	819	955	+16.6%	+136	▶EC売上は前期の脱コロナ禍の特需を上回る水準 ・積極的なプロモーションとSEO対策で新規顧客獲得 ・高い水準で安定したリピート率を維持 ▶卸販売強化が功を奏す ・主要取引先への提携商品の強化 ・インサイドセールスによる新規獲得と既存客営業強化
売上総利益 (率)	306 (37.4%)	366 (38.4%)	+19.5%	+59	▶売上増加に伴う利益額の増加 ▶製造工程の改善による効率化やロス率の改善
販管費	276	325	+17.4%	+48	▶新規顧客獲得のため広告宣伝強化 ▶売上増加に伴う荷造運賃の増加
営業利益	29	41	+39.4%	+11	
経常利益	12	42	+254.5%	+30	▶前年は上場関連費用（営業外費用）計上の影響
四半期純利益	8	34	+329.3%	+26	
EBITDA (営業利益+減価償却費)	69	98	+41.8%	+29	▶EBITDAも前年同期比で増加

四半期売上推移



売上の主な季節要因

極端な偏りは無いが、以下の傾向がある

1Q：＜3月＞
企業の年度末駆け込み需要の増加や新生活に向けた販促活動が活発化

2Q：＜6月・7月＞
夏場のイベント需要増加に伴い、うちわなどの販売が増加

3Q：＜9月・10月＞
秋冬商戦に向けた販促物入れ替え需要などで、のぼり旗や横断幕の需要が増加

4Q：＜12月・1月＞
営業日数が少ない月であること、広告需要の閑散期

事業KPI：トランザクション数 × 平均客単価

トランザクション数は上昇、平均客単価は安定して推移

＜トランザクション数（単位：件）＞

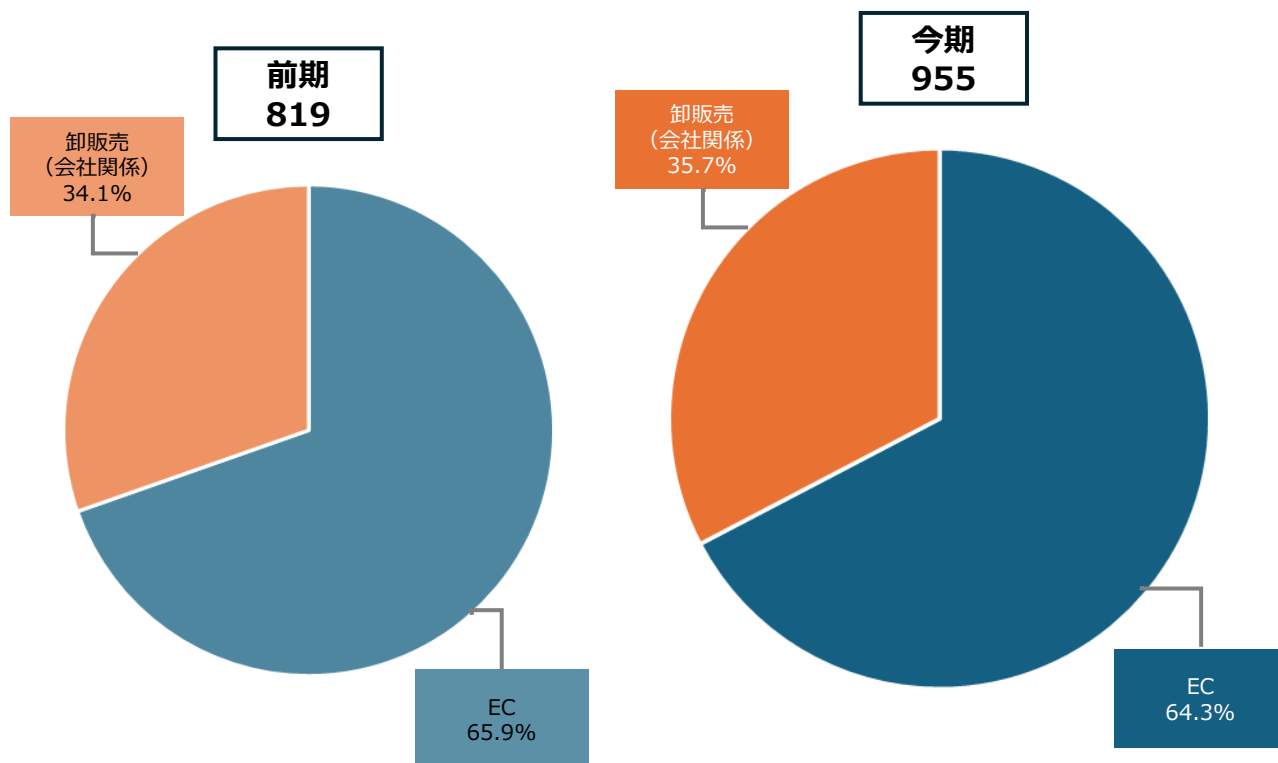
＜平均客単価（単位：円）＞



損益計算書の概要

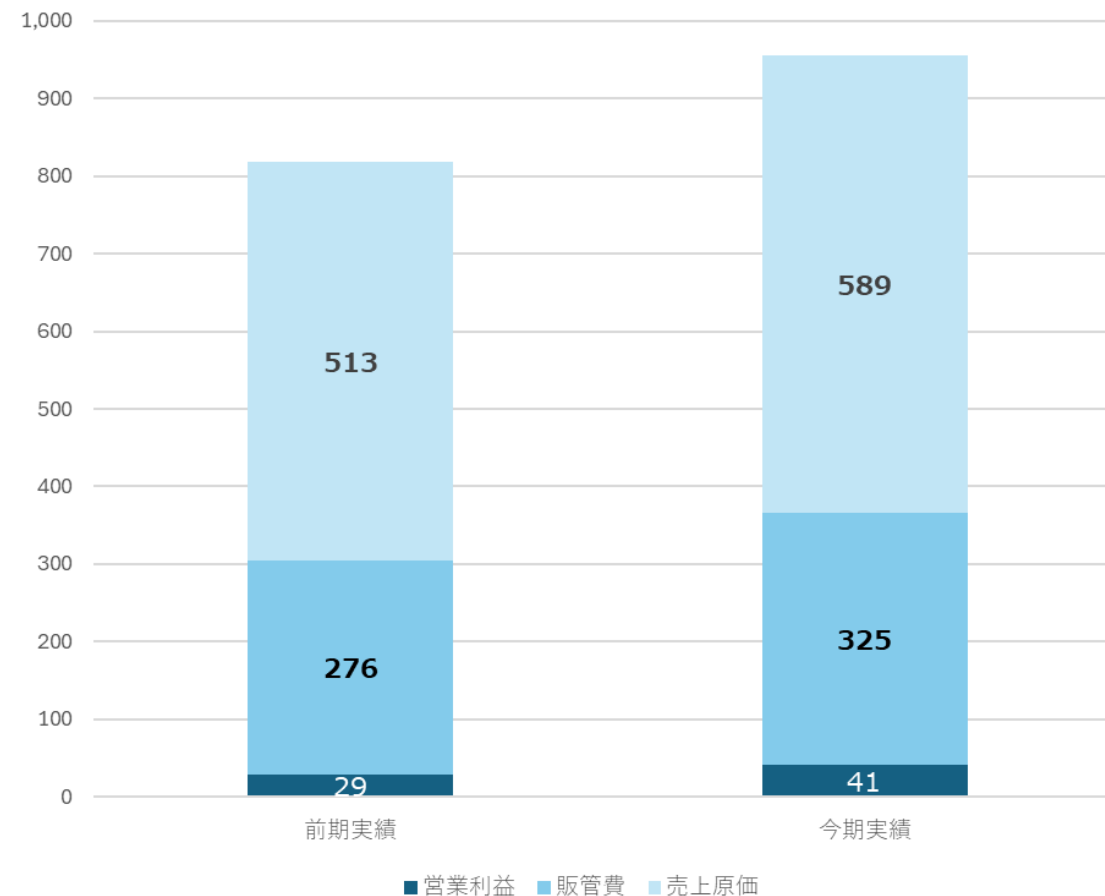
(単位：百万円)

売上高 (構成比)



(単位：百万円)

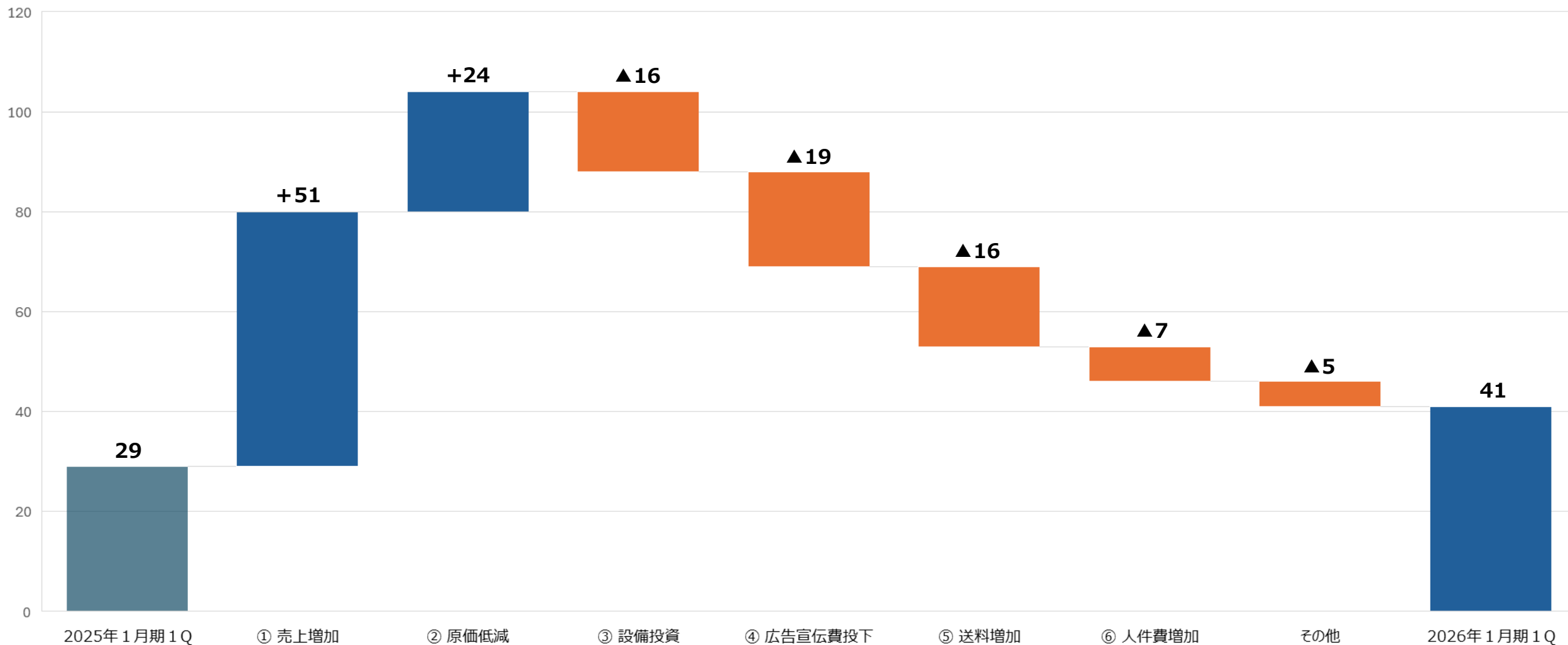
利益構造



損益計算書の概要

営業利益増減 主要因

(単位：百万円)



損益計算書の概要

営業利益増減主要因 概要説明

	概要	説明	営業利益影響額 (百万円)
①	売上増加	■ 売上増加に伴う総利益額の増加	+51
②	原価低減	■ 決済をドル建てから円建てに変更したことで材料費（輸入生地）の低減 ■ 製造工程改善による効率化とロス率の改善 ■ 防災生地の内製化	+24
③	設備投資	■ 製造工程を効率化するため、最新印刷機の導入 ■ 業務量増加への対応と生産性向上のため	▲16
④	広告宣伝費投下	■ 積極的なPR活動やSEO対策を実施し、新規顧客の獲得に注力 ■ 新規顧客の獲得は、来期以降のリピート売上につながる	▲19
⑤	送料増加	■ 売上増加に伴う発送量の増加 ■ 単価上昇	▲16
⑥	人件費増加	■ 受注量・製造量の増加に伴い人員補強	▲7

貸借対照表の概要

(単位：百万円)

	2025年1月期 期末	2026年1月期 第1四半期末	増減額	主な増減要因
流動資産合計	1,165	1,166	+1	
固定資産合計	2,479	2,788	+308	▶最新印刷機導入や駐車場用土地取得などによる増加
資産合計	3,645	3,954	+309	
流動負債合計	768	1,173	+405	▶短期借入金が300百万円増加
固定負債合計	1,672	1,571	▲100	▶長期借入金が101百万円減少
純資産合計	1,204	1,209	+5	▶四半期純利益計上の一方で、期末配当実施
負債・純資産合計	3,645	3,954	+309	
(自己資本比率)	33.0%	30.6%	▲2.4pt	

東京ネオプリント株式会社の株式取得（完全子会社化）に関するお知らせ



当社は、大型S P商材をE Cを通じて販売するIT主導型の製造業として、業界をけん引してきました。

このたび、東京ネオプリント株式会社を完全子会社化することで、同社の利益体質を改善し、業界に革新をもたらす新たなステージへと踏み出します。（株式譲渡実行予定日：2025年6月30日）

■「小ロット・多品種対応」と「量産技術」の融合

当社が展開する、受注から製造までを一気通貫で処理するITシステムと東京ネオプリントが誇る高品質かつ大量生産可能なシルクスクリーン印刷技術という2社の強みの掛け合わせにより、幅広いニーズに対応できる「ハイブリッド型生産モデル」が誕生します。これにより、納期短縮・品質向上を実現し、顧客満足度の向上を目指します。

■市場シェア拡大の加速

国内において比較的大規模な「のぼり旗・幕」製造業者は限られており、本統合により当社グループの市場占有率が飛躍的に高まります。また、当社のノウハウと東京ネオプリントの技術力を掛け合わせることで、既存市場の深化と新市場開拓の両面から成長が見込まれます。

東京ネオプリント（株）経営成績及び財政状態 要約

（単位：百万円）

	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期
純資産	851	834	648
総資産	1,612	1,483	1,514
売上高	1,697	1,755	1,571
営業利益	△57	△33	△81
経常利益	△42	△15	△84
当期純利益	△42	△16	△185

2026年1月期 業績予想

単体業績予想に変更なし

連結業績予想は、現在精査中



2026年1月期の最大のポイントは、「**スマートファクトリー化の早期実現**」に向けた機械設備の導入
減価償却の影響で減益予想だが、将来の会社成長と利益率改善のために**積極的な投資を進める**

(単位：百万円)

	2025年1月期 実績	2026年1月期 計画	対前年 増減率	対前年 増減額	概要
売上高	3,605	4,027	11.7%	+422	▶ 高成長サイトへの積極投資 ▶ 新規取り扱い商品を拡充
売上総利益	1,470 (40.8%)	1,556 (38.6%)	5.8%	+85	▶ 機械設備の新規導入初年度の減価償却費負担が重い
販管費	1,199	1,398	16.6%	+198	▶ 売上拡大に合わせた新卒採用により人件費が増加 ▶ 売上獲得のための広告宣伝費投下 ▶ 売上変動費（送料など）の増加
営業利益	271	158	▲41.7%	▲113	▶ 積極的な投資による減価償却費の負担増による減益予想
経常利益	244	156	▲36.1%	▲88	
当期純利益	165	108	▲34.2%	▲56	

EBITDA (営業利益+減価償却費)	453	468	3.3%	+14	▶ 営業利益は減益計画だが、EBITDAは順調に増加
------------------------	-----	-----	------	-----	----------------------------

免 責 事 項

- 本資料は、株式会社イタミアートに関する情報提供を目的とし、投資家の皆様にご理解いただくために作成したものであり、当社が発行する有価証券に対する投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- 本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、その情報の正確性、完全性を保証し、また確約するものではありません。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることがあり、また予告なしに変更されることがある点を認識された上でご利用ください。

IRに関する
お問い合わせ先

株式会社イタミアート 管理本部：一ノ瀬
TEL：086-805-4150
E-mail：itami.ir@itamiarts.co.jp